

悩まなくてもだいじょうぶ



# 知っておきたい アレルギーの話

NPO法人アレルギーを考える母の会  
代表 園部まり子



イラスト／清水直子

第7回

## 「千人が治った」体験を信じる？

❁ 何人治っても治療の有効性を証明しない

たくさんアレルギーの患者さんの相談を受けていると、さまざま「民間療法」を試している人に出会います。そしてその「入り口」となるものに、書店に並ぶ、患者の体験談をまとめた本があります。「この治療でアトピー性皮膚炎を治した。千人の体験談」などと書いてあると、つい手を出してしまうのでしょつ。「母の会」の講演会で、小児アレルギーの専門医が「千人が治った」という治療が果たして有効なのかどうか、分かりやすく説明してくれたことがあります。結論から先に言えば、仮に「千人が治った」としても、その治療が有効だと科学的に証明した

ことには全くならないそうです。

その「からくり」は次のようです。例えば治療を受けた人が5千人いて、2年後にこのうち千人が治っていた。もしその5千人が治療を受けなかったとして、自然に治った人が5百人しかないければ、確かにこの治療は統計学的に有効とされる。ところが、治療を受けても受けなくても自然に治る人が千人いれば、それは自然治癒と同じなので、この治療に効果はないというのです。

さらに驚いたのは次の話です。治療を受けた人が5千人いて治った人が千人いた。ところが治療を受けなかった人がやはり5千人いて自然に治った人が2千人いれば、結果は自然治癒より低いので、たとえ「千人が治った」としても、この治療は有



そのべ・まりこ ● 神奈川県社会福祉協議会セルフヘルプ支援事業運営委員。困っている患者と専門医との橋渡しを第一に「治療ガイドライン」情報などの提供、専門医による講演会や会報発行、行政への働きかけを行なっている。共著に『食物アレルギーの手びき 改訂第2版』（南江堂刊）。

害たというのです。そして「アトピー性皮膚炎の治療でもこうした例があるのに十分に注意しなければいけない」と指摘していました。

❁ 「本に書いてあったから」と安易に信じるのは危険

ある治療を受けたグループと受けなかったグループで、治った人の割合を科学的に比較しなければ本当にその治療が有効かどうかは証明できないという考え方で、少し言葉は難しいのですが、「根拠に基づく医療」の基本とされています。私たちが患者の視点で考えれば、「友人の子どもが治ったから」「本に書いてあったから」といって、安易に信じてしまうのは危険ということになるでしょつか。